



栃木県立足利南高等学校 平成 29 年度 総合学科通信 第 3 号

No.49
(2018/3/23発行)

校長より

校長 柳沼 倫明

「総合学科で身につける力」

人間という生き物は、自分たちの暮らす環境を常に改変し続けてきた存在です。樹上生活から平地に降り立ち、二足歩行を習得し、道具を作ることを覚え、火を扱えるようになりました。集落を形成し、作物を栽培し、家畜を飼うようになりました。アフリカで数十万年前に誕生した人類は、シベリアを通過してアラスカに渡り、とうとう南アメリカの南端にたどり着きました。船を発明した人々は、太平洋の孤島にまで漕ぎ出していました。

人々は、世界中に拡散しながら、ありとあらゆる場所に順応して生活圏を築いていきました。あらゆる場所に適応してその場所を人間が生活できる場に改変するだけの力を人間は持っているのです。シベリアの酷寒の地では、マイナス 60 度の世界で生き抜かなくてはなりません。体温を保つ術を身につけていない者は、死ぬしかありません。人間には、そのような過酷な環境でも生き抜くことのできる知恵が備わっているのです。この人間に備わる知恵は、あるいは私たちの DNA にまで刻印されているのかもしれません。

これまでもたくさんの変化が人間社会を襲いました。都市部への人口の集中は伝染病を蔓延させました。蒸気機関の発明は、産業革命を引き起こしました。産業革命は人間からたくさんの仕事を奪い、同時にたくさんの仕事を生み出しました。それぞれの時代に人間は、それぞれの環境変化に対応して生きてきたのです。今、これまでとはまったく違った環境の変化が私たちを襲おうとしています。AI 革命です。AI（人工知能）は、私たち人間から多くの仕事を奪うと言われています。私たちはこの変化に対応できるのでしょうか。産業革命の時のように労働力としての人間は必要とされるのでしょうか。今後、人類が直面する世界がどのようなものなのかは、まだ誰にも分かりません。

生徒たちは、これから未知の世界に立ち向かわなくてはなりません。そのために彼らに与えられている武器は、知恵だけです。生徒たちは、本校の総合学科でたくさんのことを学ぶと同時に知恵を磨いています。本校で生徒たちが身につける「課題解決力」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」といった力は、どれも「知恵」の別名です。知恵を磨いている本校生の姿がもっともよく分かるのが総合学科発表会です。保護者の皆様には、是非、来年度の総合学科発表会を参観していただきたいと思います。

後期スポーツデイ

生徒会係 須田 俊幸

今年度の後期スポーツデイは、男子サッカー、女子バレーボールを実施しました。生徒は体育の時間や早朝に練習を重ね、大会当日は大変盛り上がりました。例年とは違って、1・2 年生の活躍が目立ち大きな存在感を示したスポーツデイとなりました。

【スポーツデイの結果】

	サッカー	バレー	総合結果
1 位	2 - 3	2 - 2	2 - 2
2 位	3 - 3	1 - 3	3 - 3
3 位	3 - 4	3 - 1	2 - 3



総合学科発表会

総合学科発表会担当 藤谷 知仁

平成 30 年 1 月 20 日（土）に本校第 1 体育館において、平成 29 年度総合学科発表会が行われました。自分の描く進路や人生設計をまとめた 1 年生の「ライフプラン作成」、自分の進路や興味・関心を踏まえてテーマ設定した 2 年生の「ミニ課題研究」および 3 年生の「課題研究」から各学年、各系列代表 20 名の生徒が発表してくれました。

特に 3 年生の「課題研究発表」では、2 年生の「ミニ課題研究」を継続させ、さらに深く調査・研究した発表、自分の考えを取り入れながら対象物の作成をした発表、実践を通してその結果を分かりやすくまとめた発表など、どれも素晴らしいものばかりでした。1、2 年生にとって今後の「課題研究」の参考になるのではないかと思います。

また今年度は、被服製作にチャレンジした生徒による被服製作披露も行われました。製作者本人と補助者がモデルとしてステージ上を歩き、テーマに沿って仕上げられた見事な作品は、発表会に華を添えてくれました。

本年度は数多くの中学生や保護者の方々などが足を運んで下さいました。この場を借りて御礼申し上げます。来年度もさらに多くの方々に足を運んでいただけるような発表会にしていければと考えています。



講座発表会

学習指導部長 浅間 和子

平成 30 年 1 月 20 日、総合学科発表会の午後の部として講座発表会を開催しました。メディアホールでは「演劇 I」の発表が行われ、今年度はミュージカル「あした天気になあれ」2017 足南 ver が上演されました。1 年間練習を重ね作り上げた舞台は、歌にダンスに芝居にと見応えのあるものとなっており、演者たちが生き生きと演技する姿は感動的でした。また「演劇 I」は公開講座でもあり、本校生徒と一般受講生による舞台だったため、高校生だけの演劇とはまた違った雰囲気的舞台となっていました。舞台を作るにあたっては、青年劇場の方々に演技指導、照明、音響など多方面にわたって本格的なご指導、ご協力をいただき、素晴らしい舞台を作り上げることができました。受講生にとっては貴重な体験であり、よい思い出となる舞台になったことと思います。上演にあたりご指導・ご協力いただいた全ての方に御礼申し上げます。

また、第 1 体育館では「器楽 I」「声楽 I」「体育」の発表が行われました。器楽 I の発表ではヴァイオリンの演奏が行われ、緊張の中にも、1 年間積み上げてきたものへの自信を感じさせる発表でした。声楽 I は、独唱、合唱の発表し、美しい歌声を体育館に響かせていました。体育の発表は、グループで話し合い、練習を重ね作り上げたダンスを披露し、会場を大いに盛り上げていました。

どの発表も、1 年間の集大成にふさわしい、素晴らしい発表であったと思います。



予餞会

予餞会担当 春日 幸市

2月27日(火)に予餞会が行われました。まず、各部活動の後輩から先輩へのメッセージがありました。野球、男子バスケ、バレー、バドミントン、女子テニス、陸上、ウェイト、柔・剣道、女子バスケ、演劇の各部活からダンスパフォーマンスやスライドを使った思い出の画像放映等によるメッセージが送られました。どの部活動もこれまでの厳しい練習を共に乗り切った絆が感じられる発表でした。次に、フォーク部による演奏が行われ、本格的な機材を利用した迫力あるもので、関東大会準グランプリの実力を十分発揮した発表でした。更に、生徒会企画が教員も参加して行われました。谷先生と君島先生がフラフープをして競ったり、塚越先生と竹松先生が辛い食べ物我慢競いをしたり、関先生と村上先生が足つぼの上で縄跳びをしたりして、生徒も大盛り上がりでした。いろいろな教員の小さい頃の写真をを使ったクイズも盛り上がりました。生徒と教員みんなで手作りの感じが強く、温かい企画でした。最後に、3学年の教員団からの出し物があり、ダンスや歌、3年間の思い出映像放映が行われました。3年間の厚い思い出が込められたものでした。予餞会は全体を通してとても盛り上がり、すばらしい3年生を送る会になりました。



各部活動の出し物



3学年教員団による出し物

3学年より

「卒業を迎えて」

2018年3月1日木曜日(赤口)、40期生(総合学科16期生)の卒業式が盛大に挙行され男子44名、女子108名の計152名が足利南高校を巣立っていきました。

朝方まで降り続いていた雨も、卒業生の入場が始まる頃にはやんで、さわやかな青空の下で退場していきました。思い起こせば3年前の入学式も雨でした。卒業式もまたかと危惧してましたが、春を感じさせる日差しの中、生徒たちは足南高に別れを告げることができました。感極まって泣きながら答辞を読見上げた生徒の姿に、そして卒業生全員で歌った「旅立ちの日に・・・」を聞いているとき涙ぐんでしまうほど感動的でそして立派な卒業式であったと思います。生徒たちはあっぱれだったと言えます。

卒業試験が終わって生徒たちが特別学習期間に入った時は、生徒たちはやがて登校してくることがわかっていたので、その間に準備すべきことをやるということで淋しさは全く感じませんでした。しかし卒業式の翌日は、もう生徒たちは登校してこない、教室で待っていても誰もこない・・・わかっていることでしたが改めて担任一同が淋しさ、生徒口スを感じざるを得ませんでした。しかし、私たちは大人への第一歩を踏み出していく生徒たちを笑顔で見送らなければなりません。生徒たちのこれからの新しい世界での活躍と頑張りを期待して、陰ながら見守っていきます。

この足利南高校は高校3年間という貴重な時間を過ごした母校です。新しい世界を走り続けて行く道も山あり河あり風もありで永いと思います。振り返るにはまだ早すぎますがちょっと疲れたときには母校に立ち寄ってください。新たなエネルギーをきっと得られると思います。

学年主任 厚木 範之



2学年より

学年主任 後藤 千春

「総合学習Ⅰを振り返って」

本校では、2年次に総合学習Ⅰを毎週月曜日5時間目に行っています。主な学習内容は、①ミニ課題研究 ②修学旅行事前学習 ③進路学習 ④3年次時間割見直し ⑤3年次課題研究テーマ設定等です。

- ①ミニ課題研究・・・1年次の3学期にミニ課題研究として修学旅行先の沖縄に関するテーマからグループ研究の形式で行いました。2年次においては、個人研究の形式で「人文社会」「自然科学」「芸術・スポーツ」「情報メディア」「生活デザイン」の5つの系列に分かれ自分の興味のあるテーマを設定し研究しました。
- ②修学旅行事前学習・・・沖縄へ事前学習として「月桃の花」の映画鑑賞をとおりて、沖縄戦や沖縄の歴史、基地問題等を学びました。
- ③進路学習・・・進路ガイダンス、進路講話、スクールインターンシップⅡ等の行事をとおりて、進路について各自が考えを深めることができました。
- ④3年次時間割見直し・・・自分の希望進路を考え、1年生で決めた時間割の見直しを行いました。
- ⑤3年次課題研究テーマ設定・・・系列の先生のアドバイスを受け、3年次で取り組みたい課題研究のテーマを考えました。

以上の総合学習Ⅰの授業を踏まえ、来年度総合学習Ⅱで行う課題研究をよりよいものにしていきたいと思います。また、進路実現に向け充実した研究活動になるよう生徒、系列担当共々頑張っていきたいと思います。

1学年より

学年主任 森 紀子

「1年間の「産業社会と人間」を振り返って」

1年次には、総合学科ならではの科目「産業社会と人間」を週2時間ずつ学びます。主な内容を振り返ると、1学期には職業理解ガイダンスなどの進路学習、2学期には時間割やライフプランの作成、3学期は修学旅行先である沖縄の調べ学習、さらに校外学習として6月と9月にスクールインターンシップがありました。こうした産社の授業風景については、本校のホームページに写真や記事をアップしていますのでご覧ください。

年度末に実施した生徒対象のアンケートには「進路に向けてこんなに早く決めると思わなかった」「将来のことについて今までで一番考えた」「この時間のおかげであいまいだった進路を決められた」「将来のことが身近に感じてきて緊張感を感じた」などの感想が見られ、科目の目的である「進路への自覚を深める」ことが達成できた様子がうかがえます。また、グループでの作業や講話を通し、人との関わりのなかで自分を見つめ直す機会にもなったようでした。

「産業社会と人間」は1年次にしかありませんが、生徒たちがそれぞれ希望の進路を実現できるよう、これからも引き続き支援してまいります。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)